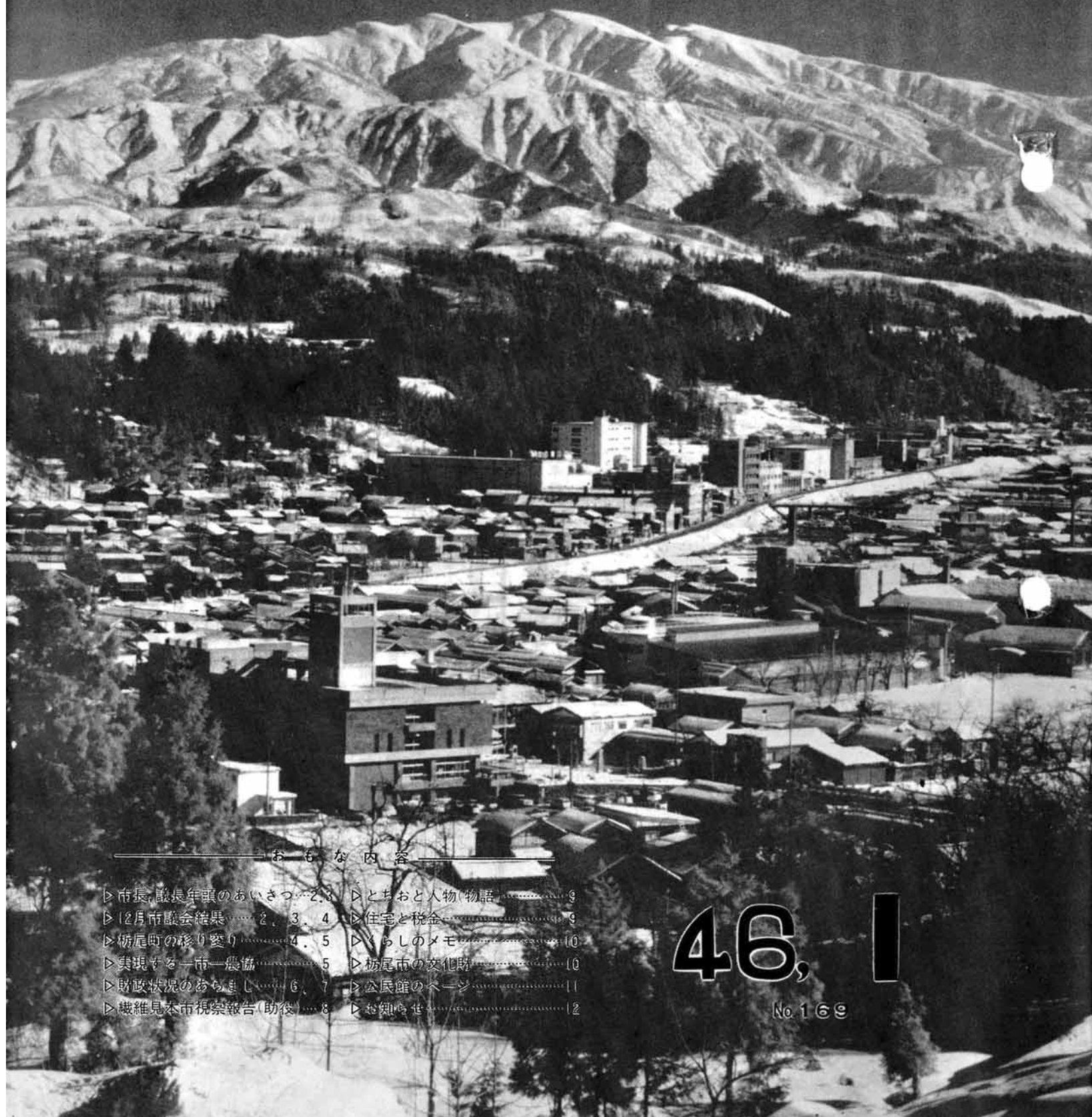


# とちお

編集と発行 新潟県栃尾市役所  
電話 (02585) 2-2151

新潟県栃尾市役所  
〒951-8501 新潟県栃尾市  
電話 (02585) 2-2151



おまな内容

▷市長、最長年頭のあいさつ.....2	▷とちおと人物(物語).....9
▷12月市議会結果.....2, 3, 4	▷住宅と税金.....9
▷栃尾町の移り変り.....4, 5	▷うちのメモ.....10
▷真実する一市一農協.....5	▷栃尾市の文化時.....10
▷財政状況のおもしろい.....6, 7	▷公民館のページ.....11
▷織維見本市視察報告(助役).....8	▷お知らせ.....12

46, 1  
No. 169

## 新有権者感想文を募集

締切は1月31日

自治省および財公明選挙連盟では、新有権者の感想文を募集しています。ことしは統一地方選挙、参議院議員通常選挙が行われます。新有権者の新鮮な感覚と意欲に燃えた感想をお寄せください。

**応募資格** 昭和十五年一月一日から昭和二十六年十二月三十一日までに生まれたもの。

**内容・課題** 「成人の日」を迎え新有権者または社会人として、選挙を通ずる地方自治や国政への参加について、自分自身が経験したり、感じたりしたこと。課題は、その内容にふさわしいものとする。

**字数** 四〇〇字詰原稿用紙四枚以内。

**応募締切** 昭和四十六年一月三十一日(当日消印有効)まで。

**提出先** 〒940-0102 栃尾市金町 栃尾市役所内 栃尾市選挙管理委員会。

**選考・入選通知** 県での地方審査を経て、国で中央審査を行ない、

入選者には三月二十日ころまでに本人に通知する。

**賞金** 最優秀(一編) 三万円、入賞 一万円、佳作 二万円、応募上の注意

(1)住所、氏名(ともにフリガナを付ける)、性別、生年月日、職業を原稿の末尾に明記する。ただし、これは字数の制限外とする。

(2)感想募集が行なわれることを知った媒体名(新聞紙名、広報紙名等)を記入する。

(3)応募原稿は返却しない。

(4)入選作品は、明るく正しい選挙推進運動に自由に使用する。

東京身体障害者職業訓練校では四月入校生を募集しています。希望者は、公共職業安定所に相談ください。

**募集職種** 時計、木工、機械製図塗装、製くつ、事務、洋服、洋服和裁、編物、義肢装具、工業彫刻訓練期間 編物(六ヶ月)のほかはすべて一カ年間。

**入校資格** 身体障害者で義務教育修了者、またはこれと同程度の学力のあるかた。

ただし、つぎに該当するかたは応募できません。

(1)精神に障害があって、技能修得の見込みのないもの。

(2)盲人

(3)訓練に支障があると認められる内部疾患のあるもの。

(4)てんかんおよびてんかんに似た症状のあるもの。

**応募手続** 各職業安定所、福祉事務所に備えてある応募書類によって、三月十三日までに各職業安定所を通じて申し込む。

**選考** 職業安定所で選考の日時の指示を受け、簡単な適性検査、身体検査、面接を行なう。

遠隔地の応募者については、応募書類のほか、最終学校長の内申書または成績証明書の添付によって書類選考も行なう。

**特典**

(1)訓練用教材、器具類を貸与し授業料は無料です。

(2)寮があり、寮費は無料です。

(3)一日五八〇円の基本手当(二十才未満は四四〇円)および一日二二五円の技能修得手当を支給します。

(4)失業保険、生活保護の給付は、入校中も引き続き受けられます。

(5)入校者には、移転資金が支給されます。

## あなたの通帳がねらわれている

郵便局

最近、貯金通帳や定額貯金証書の盗難事件がふえており、預金者が知らない間に払いもどされた事件は、全国で一年間に二、〇〇〇件以上もあり、被害金額も一億二、〇〇〇万円に達しています。

貯金通帳の盗難は、空巣ねらいによるものが一番多く発生していますが、友人、雇人など身近なものに盗まれたものもあります。盗難を避けるためには、保管場所に注意するのはもちろん、貯金通帳と印鑑を絶対同じ場所に置かないことが大切です。

そして、もし盗難にあつたら、一刻も早く近くの郵便局に届け出てください。

**盗難防止の取り扱い**

盗難により、他人の貯金払いもどしを防止するため、郵便局では預け入れや払いもどしをする郵便局を、一局か二局に指定して利用する「取扱局指定」の取り扱いや貯金者が正当な本人であることの証明資料として、本人の写真入り「郵便貯金本人票」の交付も行なっています。

郵便貯金本人票は、全国どの郵便局でも、金額に制限なくおろせる特典もあります。

## 今月の市税

- ▷市県民税
  - ▷国民健康保険税
  - ▷軽自動車税
- 納期 1月31日

(11月末日現在)	
世帯数	7,719
男	16,959
女	18,394
計	35,353

**行政相談日**

▽とき 一月二十五日  
午前10時から  
午後3時まで

▽ところ 市役所市民相談室  
なんでも気軽に相談ください

年頭にあたり

二本の柱で市政を推進  
急務は繊維業界の不況打開

市長 渡辺 芳夫



昭和四十六年の新春を迎えるにあたり、市民の皆さんに心からお祝い申し上げます。  
昨年末の市長選挙に際しましては、みなさんの絶大なご支援を得まして当選させていただきました。二月十一日市長の重責につくことのできましたことはまことに光榮であり、感激にたえません。  
栃尾市も昭和二十九年市制を施行し、早くも十五年を過ぎました。この間私も職員として、助役としてまた議会人として市政の伸展に微力を尽してまいりましたが、これからは私の責任において豊かな明るく楽しい市民生活を営んでいただくための施策を押し進めていかなければなりません。

新春をむかえて

活気に満ちた  
織物の栃尾市再現を

市議会議員 仲野 長雄



昭和四十六年の新春を迎えるにあたり、市民のみなさんのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。  
十一月末から降り出した雪が根雪になるといふ異情気象に襲われ、お互いに豪雪地の苦労がひとしお身にしみておるわけでありませぬ。  
国あげて公害問題と交通災害が毎日のニュースになっておりますが、私たち豪雪地帯の辺地に住む者としては、この雪害に対して国から認識を深めていただくよう強く運動を続けていかなければならぬと考えております。  
無雪地帯と豪雪地帯の格差がますますはなだしくなりつつあります。

カ年計画外でありますので、この国道整備を中心に県道改良舗装事業を公共事業として力強く推進していく決意であります。  
刈谷田川総合開発栃尾ダムは、昭和四十三年度から調査が進められ、昭和四十五年度で一応ダムサイト下の地質調査も終わり、ダム位置の決定と、上水道、工業用水道等の貯水量の調査の段階をむかえております。昭和四十六年度にはダム建設に伴う水没地域および諸資材の運搬道路等の調査を進め、昭和四十七年度着工をめどにしておりますが、集中豪雨に弱い刈谷田川でありますので一日も早く完工し、水害の脅威を除去するとともに水資源の確保を図り、将来の汚水対策の一環にも進めてまいりたいものと存じます。  
社会福祉対策といたしましては老人福祉、児童福祉、身体障害者福祉等非常に幅広いわけですが、新年度から財政の許す範囲で進めたい。また、大きな問題といたしましては、文化・体育の場としての総合体育館の早期建設に取り組んでいきたいと思っております。  
働く人たちのため、また村部からの市外転出防止の一環として安宅地造成事業を、特別会計あるいは開発公社によって実施することにより、ひいては潜在労働力の

ことは、まことに寒心にたえないところであり、国土の均衡ある発展施策を願って、私も議長会におきまして、豪雪地帯の振興発展のため、国から特別の配慮をしていただきたいことを機会あることに強く要望陳情をいたしております。  
ことに栃尾市は、地理的に不利な条件にあるため、道路の整備、特に冬期間の交通確保には全市一丸となって対処しなければならぬと、議会も雪害対策特別委員会を設けてその推進につとめております。  
多年の宿願であった、国道昇格も先年二九〇号線として認定されましたので、これが早期整備を願うとともに、長岡あるいは国道八号線へ出る最短距離となる道路の整備、無雪化の促進について市当局とともにいっそうの努力をしたいと思います。  
また、市政施行以来の念願であ

議長に仲野長雄氏  
一般会 計予算 五、八〇〇万円を補正  
12月市議会

市長選挙後のはじめの議会である十二月定例会市議会が、十二月十二日開かれ、市長提案の十八議案と発議案一件を原案可決したほか、請願陳情一五件を審議し、二十九日八日間の会期を終了閉会しました。  
本会議第一日目の二十二日、諸般の報告、市長就任のあいさつにつづき、欠員中の議長選挙が行なわれました。  
渡辺議長が市長選挙立候補によ

建設委員会  
荒木伊作氏  
昭和四十五年十一月十八日づけ  
市議会議員渡辺芳夫(議長)および平林与一郎(建設委員長)の辞職に伴い、常任、特別委員会の正副委員長の一部に異動があり、つぎのとおり決りました。(〇)委員長、(〇)副委員長

建設常任委員会  
〇荒木 伊作 〇齋藤 勇吉

ダム建設特別委員会  
〇椿 明

栃尾長岡間道路整備推進特別委員会  
〇川上 理吉 〇西川 松次

議会選出監査委員  
高橋清二郎氏  
議会選出監査委員・仲野長雄氏は、十二月二十二日議長就任により辞職され、二十九日の本会議で後任監査委員に高橋清二郎氏が選

一般会計予算五、八〇〇万円を補正  
一、〇〇〇万円、繰越金一、四七〇万円になっております。  
補正予算のうち、職員給与改訂分を除く歳出のおもなものはつぎのとおりです。  
総務費 三六六万円  
▽公民館玄関改築(道路改良による)工事費 九七万円  
▽ボーイスカウト創設積立金(ロータリークラブ寄付)五〇万円  
▽市長選挙および県会議員選挙事務費 一一一万円  
民生費 一、〇九〇万円  
▽老人性白内障手術費扶助 五四万円  
▽老人ホーム収容措置費(既決三六九万円) 八〇万円  
次ページへつづく

# 栃尾町の移り変り

市史編集委員 山崎久雄  
(新大教育学部助教授)

## 町の発生と規模

栃尾町が近世の初期に何戸くらいあったか、そしてこの町がどのよう発展していったか、その点を家の名前を入れたところまで復元してみたいというのが、私のやりました中心的課題です。  
栃尾町の発生、これは城下町として発生したことは疑う余地はないと思います。これは文書はありますが、城下町時代の絵図面でもかなり知ることが出来ます。  
検地絵図のひとつですが城山絵図を見ますと、金井邸とか後藤丸邸、水窪という名称がでています。これから私は、七日町の付近が大手門にあたり、門前町が大町で



講演する山崎助教授

市場町として働いたのが七日町でないかと思えます。  
城下町としての発生は、中世に入ってからだと思いますが、非常に小さかったようです。  
延宝三年に、栃尾町が村高を正式にうけるために屋敷改めをやっていますが、九石のうち四石くらいが屋敷高ですから、村高の大部分が屋敷高で構成されているという町でした。  
長岡藩で在郷町として残るのは城下町の長岡、港町の新潟、それから代官町の栃尾、曾根、巻しかありません。  
その長岡藩の栃尾組が代官町として育って行った初期が、延宝三年(一六七五)ころのようです。当時の戸数は八五軒ありましたが中心の町は、横町、七日町が中心であることは言うまでもありません。農村の人達などが住みついたと思われる郊外的な町として新町や、当時向谷内と言った谷内方面にもぼつぼつ家が出来ます。また、塩谷小路(今の土々町)の方面にも家が建て始めました。

これは、十一月十三日行なわれた市史編集委員会における山崎先生の講演を要約したものです。それから約七〇年後の寛延三年(一七五〇)に、戸数は二〇〇軒を越えています。それが幕末ころになり、五、六、七、八軒くらいに減っています。

## 町政組織と役家

以上は町の普通の変化ですが、町を組織した支配関係をみると、栃尾町に代官が置かれたのは元和六年ころです。  
代官の下にお手代肝煎といわれ大庄屋的な役目をしたと思います。それが富川家です。このお手代を助ける町年寄が七、八人いた

という記録が出てきますから、栃尾町に一つの町政的な組織が出来たのは、天領になってから七、八〇年かかっているわけです。  
この町年寄は富川吉右衛門家とか利左衛門家、伊工門家など、町の重立家は富川系統が中心だったようです。つぎに古いのが大橋家です。大橋七郎右衛門家とか惣之助家など、大橋系統がかなり出てきます。したがって、富川家と大橋家が城下町時代からの土着の町役家だろうと思います。  
享保二年(一七一七)検断が置かれ、検断一町老一町代の町方三役が出来ますが、町老家までが富川あるいは大橋家です。  
町代というのは村役人でいいですよ、百姓代、いまの村会議員でしようか、これがその後はじめて田村姓になります。後に七日町の角に大屋敷をもつ伊勢屋ですがこの田村家が長く町代をつとめます。その後天明(一七八一)ころから町老、町代が二人になります。田村家は町老になります。  
こんどは那須家、これは赤谷から出た那須家だと思いますが、この那須家、それから保科家が町代になり、今成家が町代になるといふように、外から入ってきたものが町役家になっていきます。  
また、山城屋、山家屋、陶山家

などがありますが、山城屋は多田姓ですから田之口の、保科家もおそらく西谷の木山沢あたりの出だと思われれます。  
その後、幕末になって大きな力をもつのが清水家です。これは長岡の蔵米商人で、長岡藩の御用商人的な性格だったようですが、最初長岡から栃尾に出てきたのが七日町のあたりです。  
このように当時の町役家あるいは豪商的なものが、方々から七日町の辺に入ってきます。  
そして取引的に谷内の方に出たり、清水家のように別天地的な所を開いて、大きな屋敷を作るといった発展のしかたをしています。  
このように、栃尾町が一五〇戸から二〇〇戸、三〇〇戸になるのは、大部分が在の方の村方から、庄屋あるいは役家をやったもの、かなり経済力のついたものが、屋敷をもつとか分家を出すなどして次第にふえてきたわけですね。

## 町の発展と職業

当時どういふ商売が多かったかといえますと、酒屋、こうじ屋がありました。非常に驚いたのは、栃尾名物の油揚げと関係があるかと思えますが、元文年間(一七三七)に二〇軒の豆腐屋があつて、組合を作つて豆腐を値上げして

れという請願書を出しています。それから、栃尾町が大きくなって行く中心的な役割に袖仲間があります。西谷、東谷方面で手機を問屋と称し、宝歴(一七五二)ころの丹波屋文書に現われてきますが、それほど古くはないと思えます。この問屋が在方から袖を買集めますと京や江戸あるいは十日町など、諸国から袖買がやってきて袖を分けてもらいます。  
文化文政期ころには、丹波屋、山家屋など七、八軒あつたようですが、これが次第に豪商的な性格に移っているようです。  
その他の商売として大工、石屋があります。石屋は土々町や新町方面に出てきます。文書では信州や関東から入ってきた石屋がありますが、材料仕入れの関係ではないかと思えます。  
とにかく二つの系統があるようですね。一つは屋号をもつた商家の系統の家、もう一つは姓をもつた町役人的な仕事をした家、これが中期までの栃尾町の大きな古い家にあたるのではないかと思えます。  
これらの内容的な変遷については、これからの史料研究にまたねばならないかと思えます。

教育費 一九五万円  
▽学校給食費補助金(既決二、二二八万円) 一二四万円

## 請願と陳情

- 前ページより
- ▽私立保育所措置費(既決五、四六、五万円) 一八八万円
- ▽生活保護(扶助)費(既決五、〇五五万円) 八〇五万円
- 労働費 五六万円
- ▽勤労青少年ホーム前がき建設費 五三万円
- 農林水産費 △一三七万円
- ▽養蚕集団生産組織整備補助 一三万円
- ▽日町農業構造改善事業近代化施設費補助(既決六、八八万円) 一六万円
- ▽農免道路事業負担金減(既決六、八八万円) △七〇万円
- ▽農免道路物件補償料減(既決二、〇〇万円) △一七〇万円
- 商工費 二九万円
- ▽ダム建設に付帯する工業用水量等資料作成委託料 五〇万円
- ▽観光道路用原材料費減 △二五万円
- 土木費 一、六八五万円
- ▽道路新設改良費 四六〇万円
- ▽道路除雪費(既決一、〇一六万円) 一、一八八万円
- ブル等修繕料 一二〇万円
- ブル等借上料 二〇〇万円
- D3湿地ブル一台購入費 三六五万円
- 小型雪上車三台購入費 一三八万円
- 教育費 一九五万円
- ▽学校給食費補助金(既決二、二二八万円) 一二四万円
- 採択されたもの
- ▽ブル建設に関する請願 栗山沢小
- ▽校長・教員の勧奨退職年令延長に関する陳情 栗小中学校校長会
- ▽市道改良に関する請願 金沢(継続審査分)
- ▽道路舗装に関する請願 山田町(継続審査分)
- ▽道路改良に関する請願 熊袋
- ▽市道舗装に関する請願 栄町
- ▽農道改良に関する請願 沖布(継続審査分)
- ▽道院ヒュッテ台所改築に関する請願 栃尾(継続審査分)
- ▽旧軍人等連栃尾支部
- 継続審査となったもの
- ▽西谷小学校校舎改築に関する請願(継続審査分)
- ▽橋梁架け替えに関する請願 大野町
- ▽織布業構造改善事業対象設備に対する固定資産税還元補助に関する請願
- ▽織物組合(継続審査分)
- ▽新潟県中小企業会館 建設資金の補助金下付に関する陳情 新潟県中小企業団体中央会(継続審査分)
- ▽三面農道改良に関する請願 西中野保(継続審査分)

## 実現する一市一農協 3月からスタート



写真は合併予備契約書に調印する山田栃尾市農協組合長(左)、小林東谷農協組合長(右)

## 栃尾市農協 東谷農協 合併契約(予備)に調印

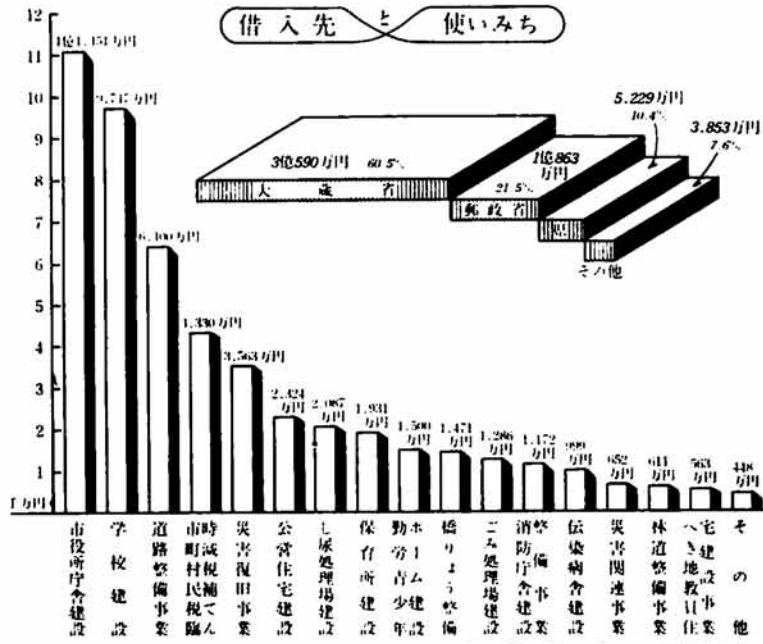
栃尾市農業協同組合(組合員数四、六六一人)と東谷農業協同組合(組合員数七五五人)が合併することになり、さる十二月十九日栃尾市役所で、合併予備契約書の調印が、山田栃尾市農協組合長と小林東谷農協組合長の間で行なわれました。  
以前市内には一二の農協がありましたが、農協合併助成法によって昭和四十一年三月、一一農協が合併し、現在の栃尾市農協が誕生しました。しかし、このときいろいろ事情から東谷農協が抜け、一市一農協が実現しなかったものです。以来、栃尾市は栃尾市農協と東谷農協の二農協でやってきたわけですが、昨年から米の生産調整をめぐる環境の変化などもあり、こんなようやく合併について合意に達し、栃尾市でも一市一農協が実現することになったわけですね。  
合併後は、組合員数が五、四三六人になり、長岡市農協、十日町市農協につぐ、県下三番目のマンモス農協が生まれます。  
正式なスタートは三月一日からの子定ですが、合併後本所は現在の栃尾市農協に置き、東谷農協を支所に、東谷農協天下島出張所をそのまま出張所として残すことになっています。

### 45年度の おもな建設事業

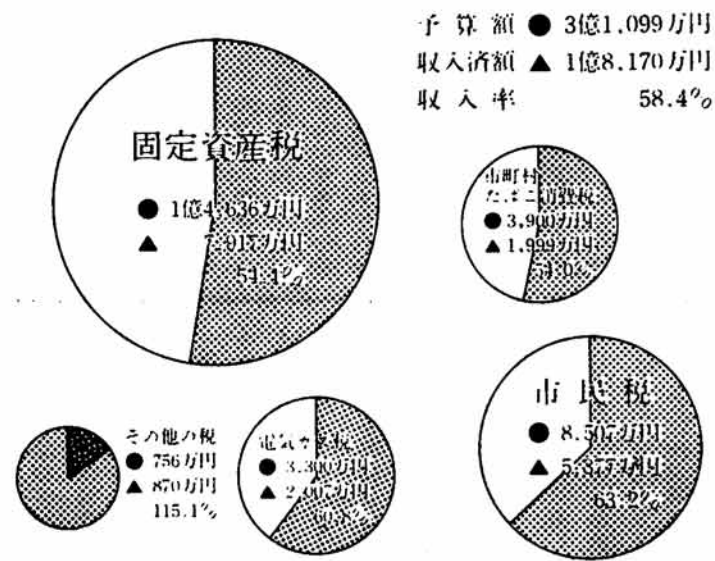
今年度実施しているおもな建設事業はつぎのとおりです。  
注 太字=総事業費 ●=国県補助金  
■=借入金 ▼=負担金等 ◎=市費を示す。

- 道路新設改良 1億1,061万円  
●710万円■2,600万円▼75万円  
◎7,676万円
- 林道開設 5,514万円  
●3,822万円■640万円▼224万円  
◎828万円
- こみ処理施設建設 2,878万円  
●200万円■2,000万円◎678万円
- 農道整備 2,461万円  
●290万円◎2,171万円
- 小中学校プール建設 1,991万円  
●260万円■300万円▼370万円  
◎1,061万円
- し尿処理施設建設 1,877万円  
●312万円■630万円◎935万円
- 農業構造改善 1,597万円  
●1,190万円▲60万円◎347万円
- 教員住宅建設 1,295万円  
●183万円■140万円▼783万円  
◎189万円
- 消防施設整備 923万円  
●56万円▼179万円◎688万円
- 公園整備 638万円  
●150万円▼100万円◎388万円
- 農地等災害復旧 571万円  
●306万円■100万円▼65万円  
◎100万円
- 半蔵金中学校舎増築 472万円  
●173万円■120万円◎179万円
- 除雪機械整備 448万円  
◎448万円

### 市の借入金 5億535万円



### 市税の収入状況



## 市の財政はこんな状況です

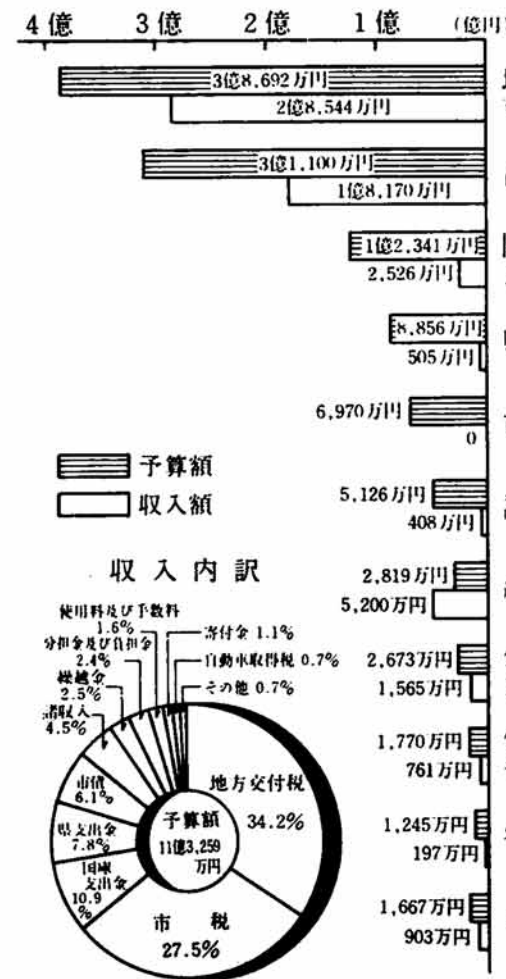
昭和45年4月1日～9月30日まで

市の財政がどのように運営されているかを、みなさんから知っていただくために、市では毎年2回財政状況を公表しています。今回は、昭和45年度上半期(4月1日～9月30日まで)の執行状況をグラフなどでお知らせします。

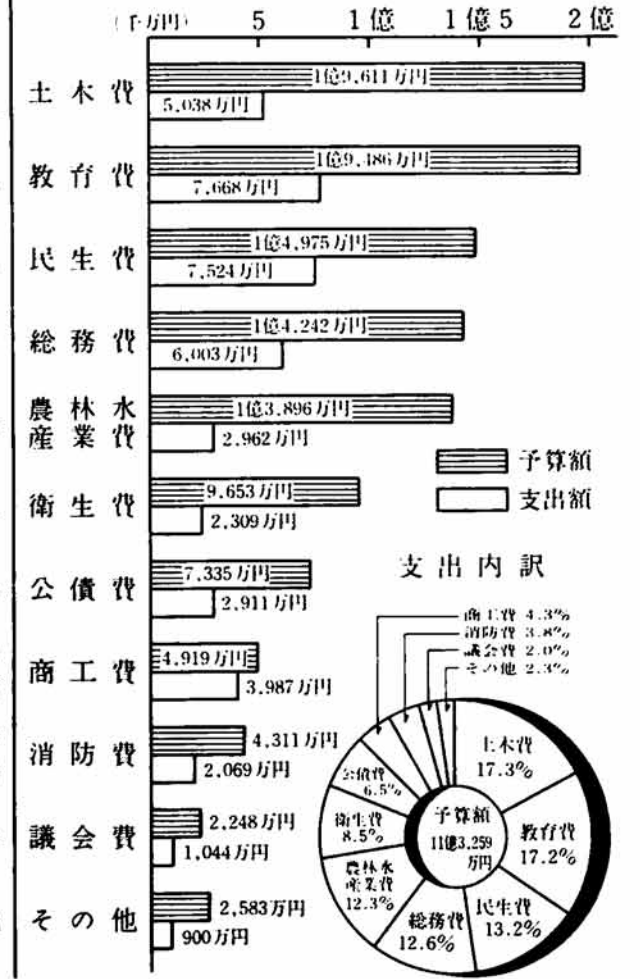
一般会計 予算額11億3,259万円

収入済額 5億8,779万円 収入率52.0%  
支出済額 4億2,415万円 支出率37.5%

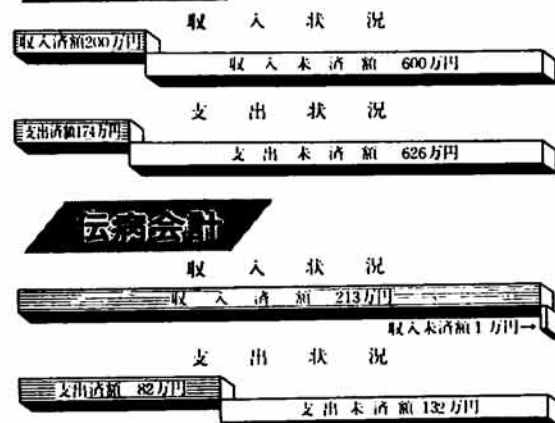
### 収入



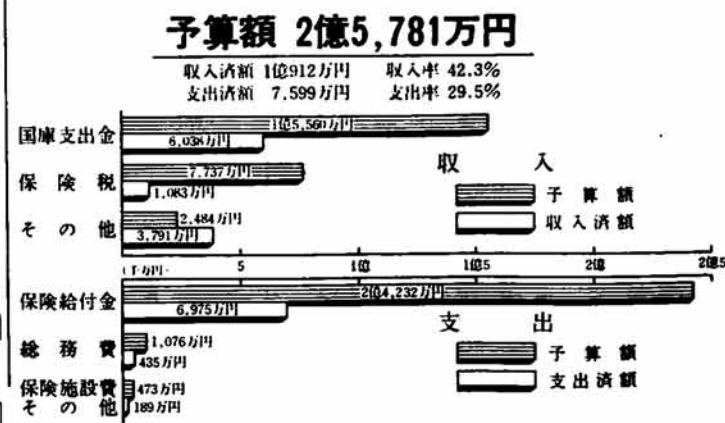
### 支出



### 一般会計



### 国庫会計



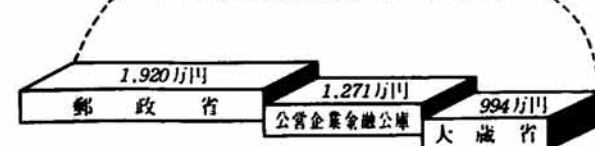
### ガス事業損益計算書

	収入	支出
ガス事業収益	3,096	ガス事業費用 2,198
		当期純利益 898

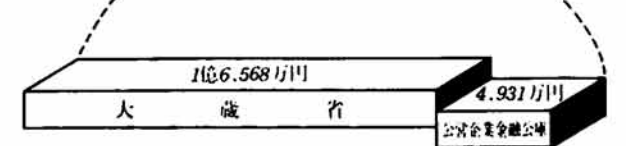
### 水道事業損益計算書

	収入	支出
水道事業収益	4,265	水道事業費用 2,066
		当期純利益 2,199

ガス事業借入金4,185万円



水道事業借入金2億1,499万円



### 後進国がマネのできない高級製法を

昨年十月シンガポールで開催された、新潟県繊維製品見本市に、市長ならびに市議会の格別のお取り計らいをいただき、西川副議長ともども参加し、東南アジアの一面を勉強する機会を得まして、さる十月二十四日無事帰国しました。

この間香港に一泊、タイ(バンコック)に二泊、シンガポールに五泊しましたが、一口に言うならば政治的国境があつても、経済的にはもう世界は一つであるということを感じました。

繊維の関係からみますと、香港においても紡績工場に六、〇〇〇人位が働いている。経済の実権は華僑、インドネシア人がにぎつており、今後の経済発展には目をみはるものがあると中国人が説明してくれた。また、日本は生産コストを下げて、しかも高級品の生産にはむきむきだと力説していました。タイにおいても日本の帝人、東レなどが現地資本と協力し、工場を新設、すでに操業を開始している。泰帝人テトロン工場では、日産テトロン二〇トン、スフ一〇トンを昭和四十六年春には達成できるといつていた。帝人株式会社の盤谷駐在員・溝

### シンガポール 繊維見本市を視察して

助役 竹内正文

シンガポールで三日間(二十一日二十三日)開催された見本市には四〇〇点の繊維製品が出品され、このうち約三分の一の一三〇点余りが柄尾の製品であった。入場者は商社現地一般人、学生を含めて約二、〇〇〇人、これは昨年と異なり記者会見によりPRした関係もあり、一般人、学生の参観者が多かったということである。

しかし、一番の得意先であるインドネシアがドル不足のため、市場が悪くなったというか、華僑が契約および在庫を多く持っているため、買控えの現状である。すなわちインドネシア、ビルマの需給能力、購買ムードがいまはないので、直ちに契約に持ち込むことはできないとしても、今後の伸びが期待されるし、もうかれれば何でもするという国民性を持つ華僑だから、よい製品であれば売れるとのことであつた。

### ぐすくすく 入学通知書はもう一年届いたでしようか

いよいよ子どもさんの入学時期もせまってきました。入学通知書が届いたでしようか。来年度新しく小学校へ入学する児童は、昭和三十九年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれた児童、および身心の故障などで、昨年度就学を猶予された児童です。

カバンやふでば、こなど学用品は、あまり精巧にできていないものは、取り扱いは複雑で中に入れたものの出し入れに手間のかかるものがあります。なるべく取り扱いの簡単なものを選んであげたいものです。おとなが見て便利だと思つても子どもにとっては何とも扱いにくい品物がたくさん出回っています。子どもさんをお店につれて選んでみると、目うつりがしてそれがいいか迷わせるばかりですから、はじめは親が買って与えるほうがよいでしよう。

### 公民館半蔵金分館 地域開発で協会賞

公民館半蔵金分館(枕沢権吉分館長)が、十二月十五日、県新生活運動協会主催の第一回あすの地域社会を築く住民活動コンクールで、協会賞を受賞しました。同分館は地域開発をめざした訪問集會を昭和三十五年から毎年開催してきました。昭和三十八年に

「わが郷土十年後のビジョンとその実現への道」という長期計画を作成、実践してきました。これらの成果は季節保育所の設置や農道整備など多数実現しており、昨年完成した林道真木、半蔵金線構想もここではじめて提起されたものです。

今回の受賞は、こうした長年にわたる住民意識を結集した地域づくりが認められたものです。

### とちおと人物 (物語)

⑦

### 新日本建設のため先駆者として活躍

### 川上淳一郎

大正の初期ですから、私がまだ二十才のころです。それがいつだったか、また何の式だったかは忘れましたが、東谷小学校で行なわれた式典に、川上淳一郎氏は燕尾服に勲四等瑞宝章をつけて出席されました。

燕尾服も瑞宝章も私にははじめて見るもので、感激とも珍らしさともつかぬものが心をゆさぶった記憶がまざまざと思い出されます。川上淳一郎氏は、慶応元年七月十八日旧東谷村小向の代々部落の庄屋をつとめる家に生まれました。そして明治十一年長岡学校(旧長岡中学の前身)を経て、同十八年東京専門学校(早稲田大学の前身)政治・英文科を卒業。

同期生には、明治・大正時代の文壇の大御所である坪内逍遙、早大総長として有名な高田早苗などがあり、卒業の席次は高田氏よりも右翼で、クラスのトップだったといわれまれにみる秀才でした。氏の略歴を示すと、明治二十一年東京専門学校講師舎監を振り出



川上淳一郎

功により、大日本農会総裁から褒状を受けた。同四十五年衆議院議員に当選。氏が四十八才のときで当時は第二次西園寺内閣の時代です。新潟県からは大竹寛一、山本梯二郎、増田義一ら一四名が選出されました。大正五年勲四等に叙され瑞宝章を賜る。同六年古志郡農会副会長に当選。昭和五年新潟新聞社取締役役に当選。

しに、同二十八年北越新報の前身越佐新報の発行所長岡日進社長。同二十九年東谷村長、同三十年古志郡選出新潟県議會議員に当選。同三十九年古志郡蚕糸同業組合議員となり、副会長に当選。同四十二年北越新報取締役、同四十四年古志郡農会評議員および新潟県農會議員に当選。この年農業改良のため、政治、経済、文化のあらゆる面に先駆者として、概要の位置で活躍されました。

また、氏は上背の高いやややせ形の人でした。どちらかといえば雄弁家とはいえないが、ゆつたりと落ちついたその言葉は、非常にテンポのおそい特徴があり、いささかもゆるがせにしない慎重そのものの話しぶりは、この人の風格を現わし、相手をして心の底から納得せしめるような、強い説得力がありました。

年輪的にも境遇的にも生き方の違う私は、氏と一対一で話し合う機会など一、二度あつただけですが、どういふものか端然と正座している氏の前にいると、顔を正視できなくなつて、つい目を伏せてしまふのです。

### 住宅と税金

静謐(せいひつ)そのものの温容が、どうしてこんなに私をコチコチにしようのか。きつとこれは、氏の「高邁な人格」に威圧されたものだと思ひます。とにかく偉い人でした。もしも氏が家に帰らず中央にとどまっていたら、おそらく「日本の人物」になつていたことでしょう。

昭和六年十一月十九日逝去享年 六十七才 (市文化財審議委員 佐藤松太郎 記)

# 暮らしのメモ



正月も過ぎましたが、年末から

## かぜ... 初期の保温と休養が第一

正月にかけての過労で、からだは弱っています。ちよつとした油断からも、すぐにかぜにかかってしまいます。かぜに対しては普段からかからないうように十分注意することはもちろん、かぜの症状が出たなと思ったら、すぐに保温と休養を守ること

## 田植機用苗

### 土付き苗の育苗方法

現在市販されている田植機は、根洗い苗用と土付き苗用に大別されますが、植えたい苗が少なく苗取り労力が少なくてすむ土付き苗用田植機の普及率が高いようです。そこで土付き苗の育苗方法を。土付き苗の育苗方法 1 まず床土として、水田の土を一箱当り四〜五リットルを三〜四ミリのフルイでふるう。



## 農事

2 種もみは、乾燥もみで一箱当り二〇〇グラムを用意する。3 種をまく前に芽出しを行なう。4 苗の生育をそろえるため、ポリシートの折り込み、土の詰め方

# 住民本位の事業を検討

## 第一回 公民館研究大会

公民館活動を住民の生活の中にとけこませ、住民のための公民館にするにはどのようにしたらよいかを研究する第一回栃尾市公民館研究大会を、さる十二月六日栃尾市役所大会議室などで、社会教育関係者を中心に一般の人々も集めて行ないました。



第1回栃尾市公民館研究大会

「生活に浸透する公民館活動について熱心に討議」

## 時代にあった公民館活動を

### —吉津氏の講演から—

めまぐるしく変化して行く社会に対応していくとき、社会教育の重要性が叫ばれているが、一番先端で地域住

をとって、早く床につきからだを休めましょう。初期なら、これだけで治つてしまいます。

もし、セキヤクシヤミがひどく熱があるときは、レスタミン、セキ止め、解熱剤などを服用します。

この場合、その人その人によって年齢や体質、症状が違うため医師に薬を処方してもらうのが一番よいことはいまでもありません。

また、一週間以上もかぜ症状や微熱が続いたら、必ず精密検査を受けましょう。

ことに、以前結核やジン臓、リウマチ熱、心臓病を経験したことのある人は、どんな軽いかぜの場合でも、医師の治療を受けることが大切です。

水滴が落ちなくなつたら育苗箱を育苗設備に入れる。6 出芽期間中の温度は、三〇〜三二度に保ち二〜三日で出芽がそろつたら「緑化」に移る。

7 緑化期間は、苗たけが四〜五センチになるまでで昼間二〇〜二五度、夜間一〇〜一五度に保つ8 つぎに「硬化」に移るわけですが、この期間は草たけが一〇〜一五センチになるまでで、温度は昼間一五〜二二度、夜間一〇〜二〇度に保つ。

話し合に先だち、新潟市教育委員会次長(前新潟県公民館連合会長)吉津勝栄氏の公民館の役割「地域社会の要求にこたえる公民館体制」について二時間の講演を聞き、午後から吉津勝栄氏、中越教育事務所社会教育課長早川恭二氏、中越教育事務所社会教育主任上村正弘氏、栃尾市史編集室長(前栃尾市公民館長)山内貞次氏を指導助言者にして話を進めました。

## 第一分科会 公民館の施設設備と人的体制について

現在の公民館の施設では、住民の教養、生活、文化、健康などの向上を図るためには不十分と思う。

市民会館(仮称)を造ることは非常によいことだが、市民会館と接触している公民館体制が、要望にこたえられる体制かといえ

ば自信がない現状です。公民館のこれからの仕事として学習活動などの表面的な事業より地域住民の考えを掘り起す、内面的事業を行なうというたいせつな仕事があります。

これからは、老人が多くなつてくるので、この人達に、いかにして

## 大日如来(県文化財) 東中野東光寺

金剛界大日如来、座像、像高五六・三センチ、桂材寄木造。大日如来には、金剛界大日如来と胎藏界大日如来の二様がありま

す。金剛界大日如来は、智恵印といつて左の人差指を右の手のひらで握っている姿

であり、胎藏界大日如来は法界定印といつて、腹の前で左の手のひらの上に右手をのせ、両方の親指の頭を

触れ合せている姿です。仏像には、手の組み方がいろいろありますが、これを印といひます。

つまり、印の相違で金剛界と胎藏界とに分かれます。金剛界大日如来は、知恵の法身であり、胎藏界大日如来は理徳の法身です。

本地垂迹説では、日本の天照大神の化身となつています。



大日は毘盧遮那、すなわち日の意味で、除暗遍明の義です。煩惱の暗を照らし、知恵の光明の遍法界を照らす仏です。

仏像の中には、薬師如来といつて薬業をつかさどるものがありま

すが、この大日如来も癡、狂、啞、聾を治し、また安産の仏ともいわ

れています。寄木造りは、法式に従つていくつかの木を接ぎ合わせ

て造つたものです。昔は一木造りといつて、一本の木で造つたため、と

もすると干割れてしまいましたが、寄木造りは干割れを防ぐために、木の芯を抜いたもので、藤原時代から造られました。

こうしてでき上つたものに麻を着せ、漆を塗り、その上に箔をおきました。

この仏様も、現在はず黒くなつていますが、金色燦然たるものでした。また、これは五六センチに余りの小さな仏像ですが、結跏趺坐といつて胡座をかいています。顔は半眼伏目で、視線を鼻柱の

中程に注ぎ、沈思考の態です。若々しく穏やかな面持ちの中に、口をきつく結んで凛々しく、顔から頼にかけて意志の強さが漂っている御面相です。(つづく)

## 第二分科会 住民に直結した具体的な公民館本館事業について

公民館大会のような事業を分館でも行なつて、地域住民との接触を図つてほしい。

表面的な事業(学習など)と合せて内面的事業(住民との相談)を行なつてほしい。

地域の交通事情を考慮して本館事業を分館でも行なつてほしい。

公民館は老人に生きがいを感じさせたいせつな場となるから充実してほしい。

区民運動会などを催し、リズムの中で親睦を図ることは非常によいことです。

地区研究会などで、地域づくりを話し合うことは、区民の意志疎通という事で非常にたいせつです。

大きな集会では婦人の意見発表が少ない。訪問集会などを通して婦人の意見を述べるようにしてほしい。

学級などは、現場へ出かける移動学習も考えてほしい。

## 第三分科会 住民に直結した具体的な公民館分館事業について

公民館の職員は、総合的な事業の企画や実施もできる一般行政をふまえた者を配置したほうがよいのではないか。また、住民と直接の接触の場であることから、指導力、企画力のある者と年齢なども考慮してほしい。

公民館、社会教育課全職員の兼務は、事業の実施にあたっておもわしくないと思う。

生きがいを持たせるかという問題も起きてきます。若年労働者の不足、核家族の増大、高度経済成長という事件を境に、もの考え方

が変つてきている。昭和二桁生まれの人は、もの本質よりカッコよさを判断するようになってきている。はたしてこれよりよいのであろうか。公民館の使命はあまりにも複雑であり、重大であると思